47都道府県プロファイル
2022年9月～2023年6月

北海道

移民女性の妊娠・出産 留学生、技能実習生らの受け入れ担当者のためのオンラインセミナー
20221102　JICA

留学生や技能実習生らの受入れに携わるすべての方を対象として、以下のオンラインセミナーが開催されました。

・北海道における外国人の受入状況と地域の課題（北海学園大学 宮入 隆）
・事例報告
　①移民女性からの妊娠相談（カトリック札幌司教区難民移住移動者委員会 西 千津）
　②地域で支援体制をつくる（かわにしの丘しずお農場　会長　今井 裕）
・グループワーク 「より良い対応を考える」
（シナリオをもとに、地域の社会資源などを考えながら、関係者の役割について少人数でディスカッション）

対象：北海道と東北の自治体、国際交流協会、監理団体、登録支援機関等の職員ならびに日本語学校・専門学校・大学の教職員、一般
言語： 日本語

https://www.jica.go.jp/Resource/sapporo/event/2022/20221102.html

北海道 NEWS WEB

浜頓別町 ベトナムからの技能実習生の生活を支援

2023年04月14日

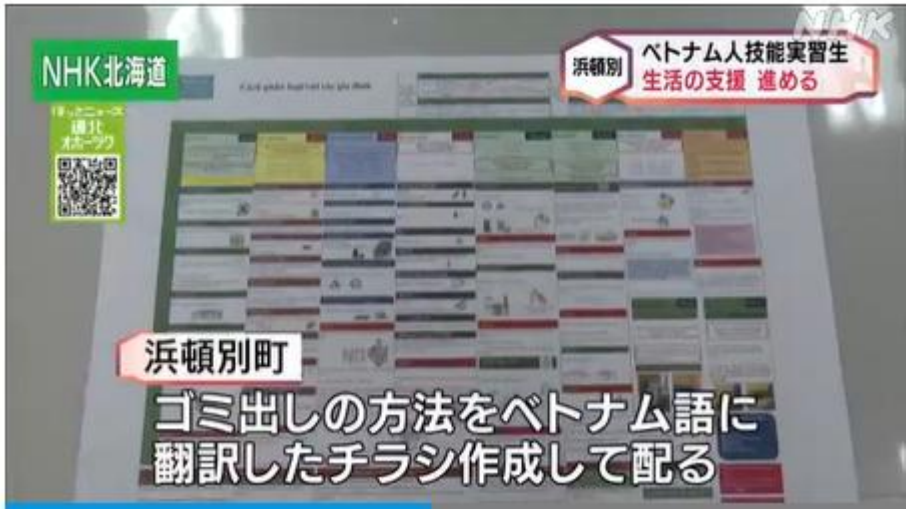
https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20230414/7000056803.html

宗谷の浜頓別町ではここ数年で増えているベトナムからの技能実習生のためにごみ出しのカレンダーを翻訳して配布するなど生活の支援を始めています。

町では、ここ数年で増加傾向となっているベトナムからの技能実習生の生活を支援しようとベトナムから来たホアン・トゥ・タオさんを新たに職員に採用し具体策を検討しています。

ホアンさんは「ベトナムから北海道に来てから寂しくてホームシックになったという話も多く聞きます。地元で交流会を開いて仲間がたくさんできるように支援したい」と話しています。

南尚敏町長は「以前は中国からの実習生が多かったが、最近はベトナムからの実習生が増えてきている状況です。実習生は地域にとって大事な存在ですし、支援を充実させて安心して暮らせる環境を作っていきたい」と話しています。



北海道 NEWS WEB

新十津川町 外国人技能実習生に交通安全教室

09月18日

空知の新十津川町で外国人技能実習生を対象に自転車に乗った際の交通ルールを学ぶ交通安全教室が開かれました。

町内の介護施設で働くミャンマー人の技能実習生４人が参加し、自転車は車道の左端を走行することや、横に並んで走行しないなどの交通ルールを学んでいました。

４人はふだん宿舎から職場まで自転車で通勤していて、途中、交通量の多い国道を横断するということで、日本の交通ルールをしっかり身につけようと真剣に取り組んでいました。

指導した滝川警察署交通課企画規制係の山家淳係長は「日本の交通ルールをしっかり理解した上で守っていただき、被害者にも加害者にもならないようにしてほしい」と話していました。

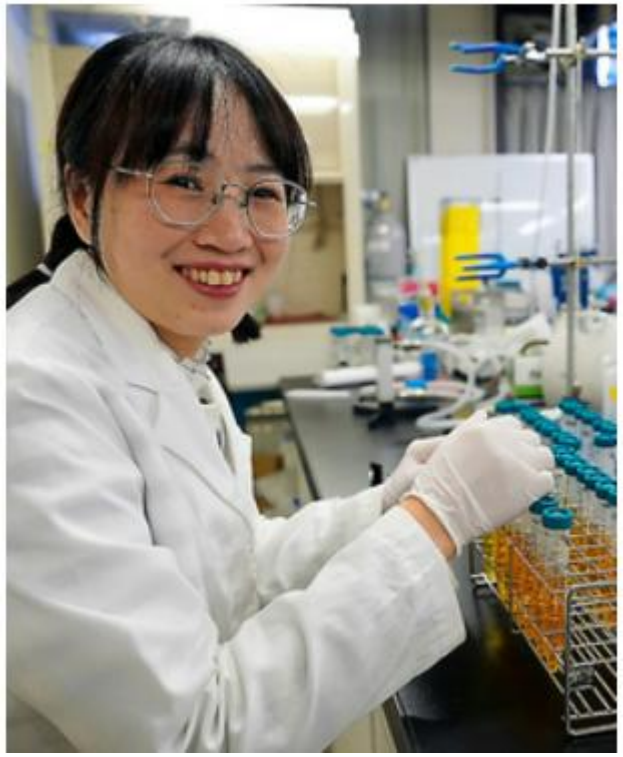
朝日新聞デジタル

（ひと）ゴー・ティ・トゥー・タオさん　起業めざし、博士課程に進んだベトナムの元技能実習生

2023年6月8日

６年前に来日した元技能実習生はこの春、最北の国立大、北見工業大（北海道北見市）の博士課程に進んだ。

　隣町の美幌町農協で３年の実習を終え帰国する予定だったが、コロナ禍で戻れなくなった。働きながら進学を志した。



十勝毎日新聞

技能実習終える２人へ振り袖写真のプレゼント　ベトナム人のキョウさん、ハウさん

2023/05/04

念願の振り袖姿で撮影する（左から）ハウさんとキョウさん

足寄町の吉村牧場（吉村進社長）で６年間、働いたベトナム人女性２人が１日、帯広市内の帯広川河川敷の桜並木で、社長からのプレゼントの振り袖姿の写真撮影に臨んだ。

ファン・テイ・ハウさん（３０）とヴーティ・トゥイ・キョウさん（２５）はベトナム北部出身。「酪農の仕事は田舎で育った私に向いているかも」と酪農の現場を選び、２０１７年７月に吉村牧場へやって来た。

最初は文化の違いに戸惑った２人。生活リズムを整え、早朝の作業に慣れることには苦労した。学んできた日本語も通じなかった。吉村社長に注意されることも「自分たちが成長するため」と前向きに受け止め、休日は吉村社長の妻道子さんの食事作りを手伝いながら日本語を習った。

そんな２人にもベトナムに家族がいる。３人きょうだいの長女キョウさんは「両親からずっと帰ってきてほしいと言われていた」。ハウさんもコロナの影響で、ベトナムの母に預ける息子２人と６年間会えていない。「そろそろ家族との生活を」と帰国を決めた。

ハウさんは６月、キョウさんは７月に帰国予定。これまで家族に仕送りをしつつ、貯金してきた資金でそれぞれネイル店、ケーキ店を開きたい、と帰国後の夢を語る。吉村社長は「２人がいなかったら牧場はここまでもっていなかった」と２人に感謝、道子さんも「本当の娘のような２人の夢を応援したい」と背中を押す。

https://kachimai.jp/article/index.php?no=584847

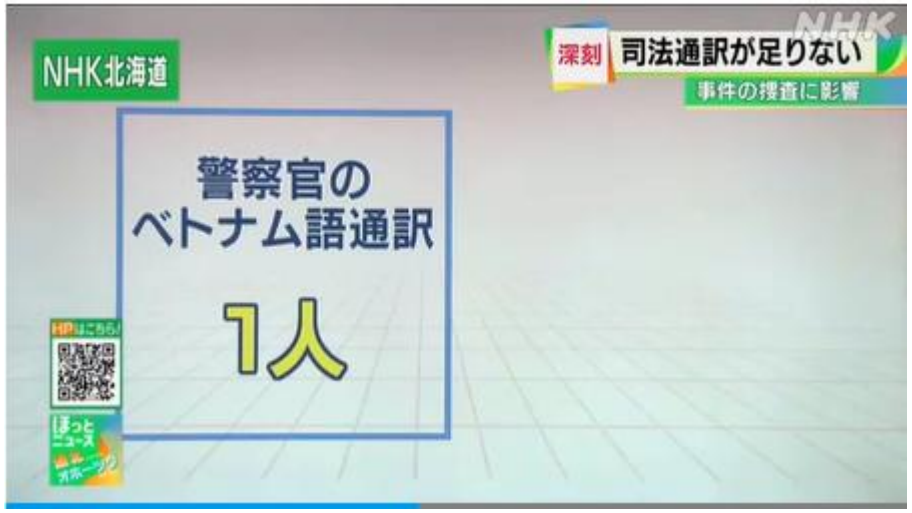
北海道 NEWS WEB

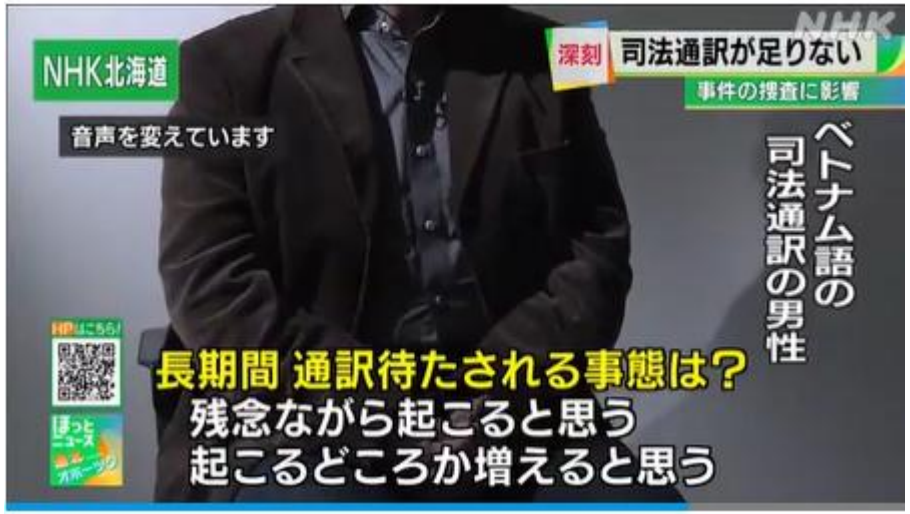
司法通訳の数が足りない ベトナム人殺害事件取材で見えた課題

03月28日

去年２月、ＪＲ旭川駅の構内でベトナム人の技能実習生の男性が包丁で刺され殺害される事件が起きました。

裁判のなかで、被告が男性からわいせつ行為を受けていたこと、そして、警察に被害を相談しても「ベトナム語の通訳を確保できない」という理由で３か月間、捜査に進展がみられなかったことが分かりました。





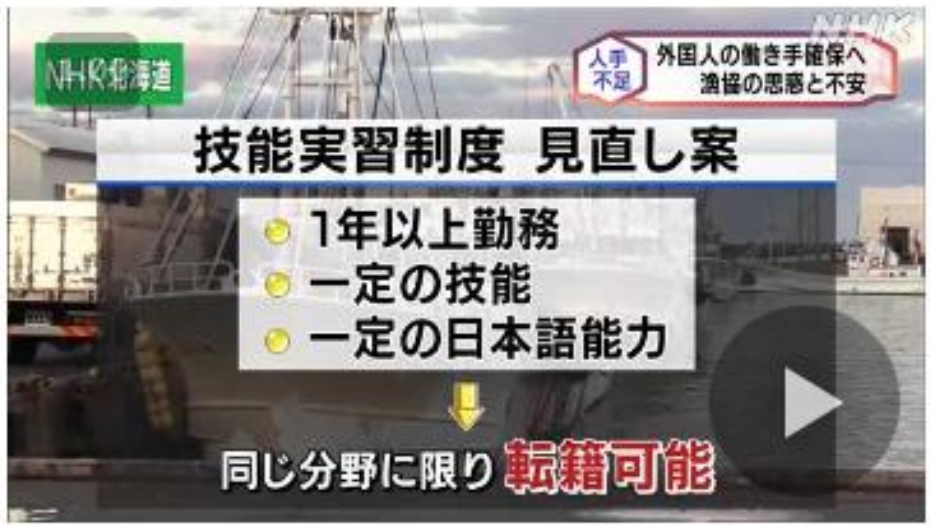
https://www3.nhk.or.jp/sapporo-

47都道府県プロファイル
2023年7月～2023年12月

北海道

人手不足の興部町の漁協 外国人技能実習生確保へあの手この手

11月24日　19時39分



特集は技能実習や特定技能で来日する外国人についてです。
道内で技能実習や特定技能の制度で働く外国人は、２０２２年１２月の国の調査で１万６０００人と、１０年前のおよそ４倍になっています。
こうした中、制度変更などによって、よりよい環境を求めて別の職場に移る外国人も出てきました。
人手不足に悩み外国人の引き留めに取り組むオホーツク海側の興部町の漁協を取材しました。（報告 北見放送局 大谷佳奈 記者）

https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20231124/7000062770.html

技能実習制度見直し案　転籍緩和、待遇改善に疑念　道内支援団体「実効性確保を」

会員限定記事

2023年11月24日 23:13(11月24日 23:18更新)

あとで読む

外国人技能実習制度に代わる新制度の課題について意見を交わしたシンポジウム＝２２日、札幌市中央区のカトリックセンター

　外国人技能実習・特定技能両制度の見直しを検討する政府の有識者会議が２４日にまとめた最終報告は、原則禁止だった実習生の転籍（転職）を就労開始から１年で可能にする方向を打ち出した。外国人の権利保障を重視した形だが、就労分野によっては１年を過ぎても転籍を制限できる余地を残した。外国人の不当な扱いがどこまで解消されるのかは現段階で見通せず、外国人の支援団体は実効性ある取り組みを求めている。

https://www.hokkaido-np.co.jp/article/944962/

技能実習生に選ばれる勤務地は　函教大生、経営者らと課題討論

会員限定記事

2023年11月24日 18:57

あとで読む

北海道で働き続けるための条件について意見を述べるベトナム人技能実習生ら

　道教大函館校で２３日、外国人の技能実習・特定技能両制度の課題などについて、同校の学生と外国人技能実習生、企業経営者の３者が検討する初の討論会が開かれた。政府が同制度の見直しの議論を進める中、実習生の意見に耳を傾け、道内が勤務地として選ばれるためにどうすれば良いのかを話し合った。

https://www.hokkaido-np.co.jp/article/944719/

外国人農業人材「技能実習」と「特定技能」の違いは　北海道TMRセンター連絡協議会研修会

2023 年 11 月 14 日　　Filed under: — djito @ 4:48 PM ニュース

北海道TMRセンター連絡協議会（小林康紀会長）は11月14日、札幌市で第18回定期総会と研修会を開催した。

研修会では、基調講演「外国人農業人材の受け入れの現状とこれからできること」（株式会社ONODERA USER RUN・木村遼氏）、「人口減少時代に地域企業が果たすべき役割」（中央コンピューターサービス株式会社・入交里奈氏）の2題が、その後、情勢報告「飼料の情勢について」（農水省畜産局飼料課・齋藤将司氏）が行なわれた。

木村氏は、在留資格「技能実習」と「特定技能」の制度の違いを解説。前者は外国人に技能を学んでもらう国際貢献を目的とするもの、後者は日本の労働力不足を補うことを目的とするもので、目的が違うことを強調。そして政府は現在、人材確保と人材育成を目的とする新制度の作成などを検討していることなども紹介した。

https://dairyjapan.com/news/?p=11937

「外国人を管理さえすればいい」…〝人手不足〟解消が目的の制度で手続きを担う入管が人手不足!?

2023/9/14(木) 10:00 配信 82

FRIDAY DIGITAL

手続き完了までに４ヵ月

岸田首相は６月の関係閣僚会議で「深刻な人手不足を踏まえ、わが国が魅力ある働き先として選ばれる国となるよう、外国人の受け入れ環境のさらなる整備に取り組んでほしい」と発言（PHOTO：アフロ）

人手不足を背景に、外国人材に対する需要がますます高まっている。

ところが北海道では、働きたくても就労できない外国人が、２月上旬から７月にかけてかなりいたようだ。札幌出入国在留管理局などの在留審査に時間がかかったためで、北海道新聞によると、在留資格の変更手続きに４ヵ月かかったケースもあったという。

【画像】外国人労働者に見放された「貧乏国」になった日本のヤバイ現実

https://news.yahoo.co.jp/articles/3d47aa0c97ec1311320b6af46fb7da078b867412

辞めた人は０人！「ずっとここに住みたい」ヒツジ農場が外国人労働者に人気の理由とは【北海道・士別】

連載｜じぶんごとニュース　【いろんな価値観や生き方に触れたい】　士別市
Sitakke編集部 IKU

Sitakke編集部

　人口減少が進む日本は、今、50人に１人の割合の「外国人」が、将来は10人に１人になります。
そんな外国人を働き手として確保するため、国は評判の悪い技能実習制度の見直しを始めましたが、北海道内にはそのヒントになる外国人労働者に人気の農場があります。
　北海道北部、士別市のしずお農場です。見渡す限りの農場は、東京ドーム67個分の広さ。希少な「サフォークひつじ」の飼育が行われています。
　農場を訪れたこの日、日本語の授業が行われていました。参加しているのは、２週間前に日本にやって来たベトナム、パキスタンからの技能実習生です。日常会話や生活のルールを学びます。
　技能実習生を受け入れているのは、しずお農場など４つの企業でつくる組合。この農場では働き手不足を補うため、2015年から外国人技能実習生を受け入れてきました。

https://sitakke.jp/post/7657/

転籍緩和したら産業成り立たない…技能実習に代わる制度、地方に懸念

有料記事

編集委員・ 堀篭俊材　久保田一道 織田一　2023年10月18日 16時28分

list 1

水産加工場で、サケのフレークを瓶に詰める中国人の技能実習生ら=北海道寿都町

「技能実習制度」の見直しを進める有識者会議に示された最終報告書の「たたき台」では、転籍制限を緩和する方針を盛り込んだ。外国人は歓迎する一方、人手不足にあえぐ地方では人材流出に不安の声があがる。実効性ある運用ができるのかも不透明だ。

　北海道東部の標津町にある建設会社、上田組で働く特定技能のグエン・フー・タインさん（31）は「悪い企業に3年もいたら損するだけ」と転籍制限の緩和を歓迎する。「悪い」とは低賃金で長時間働かせることだ。

　4年前に技能実習生としてベトナムから来日、昨春に特定技能に移った。自身は同じ会社で働き続けるが、SNSで企業から不当な扱いを受けた実習生の動画をみる機会が増えた。「ひどい会社だったら一刻も早く転籍させて欲しい」

　いまの技能実習制度は原則、転籍できない。18日に示された「たたき台」には1年を超えて働くと転籍できる新しい制度が盛り込まれた。過酷な労働環境に我慢してきた実習生の人権を守り、日本で働きたいと思う外国人を増やすことも狙いにある。

https://www.asahi.com/articles/ASRBL54FRRBKULFA03W.html

【特定技能】旭川のグループホームで勤務する ミャンマー女性２名にインタビューしました

グループホームで勤務するリンさん、ヌーさん

2023年5月に来日した特定技能「介護」の女性２名に、勤務先の北海道、旭川での勤務についてインタビューをしました。

冬はマイナス20℃にもなる旭川。旭川市内から車で20分程度の郊外の住宅街にあるグループホーム永山亭さんでは、立ち上げ当初から勤務されている介護職員の方々が長期勤務されていることが自慢です。

しかし人口減少も叫ばれて久しく、募集環境も悪化することを懸念し、2023年初頭に特定技能「介護」外国人の採用を決定されました。今回の２名も、日本は初めてで、来日してから5ヶ月が経過したところでのインタビューです。

https://www.astmil.co.jp/interview_mm_caregiver_231031/

ニュース・お知らせ

2023年10月24日

セミナー・講習会

【再掲】2023年11月8日開催〔講師：北海道厚生局麻薬取締部・函館税関総務部及びJITCO実習支援部〕札幌駐在・仙台駐在ウェビナー地域情報交換会のご案内

JITCO札幌駐在事務所、仙台駐在事務所共催による第1回地域情報交換会をウェビナー形式で開催します。
今回は、北海道厚生局麻薬取締部及び函館税関総務部から講師をお招きし、「日本における薬物乱用状況」（仮）、「税関における水際取締」（仮）をテーマに、JITCO実習支援部からは「実習生と社会保険、民間保険」（仮）の講義及び意見交換（チャットによる発言、質問等）を行います。

参加希望者は、JITCOホームページにて申込みを受け付けております。**詳しくはこちらをご覧ください。**

日　時：2023年11月8日(水) 13：30～16:30
対象者：北海道・東北６県所在の監理団体・実習実施者、登録支援機関・特定技能所属機関の役職員の方（原則）
会　場：Zoomウェビナーで実施いたします（パソコン・タブレットの画面を通じて、インターネット経由で参加する形式です）。
参加費：無料（通信費を除く）

---

https://www.jitco.or.jp/ja/news/article/28297/

特定技能人材と雇用主を繋ぐ「tokuty（トクティー）」北海道進出を経て全国の人材不足を解決したい。｜Road to Success Onlab Grads Vol.27

Onlab Grads　2023年08月28日

https://onlab.jp/journal/onlabgrads-tokuty-2/

tokuty（トクティー）は外国人特定技能人材と日本の雇用主を繋ぐマッチングプラットフォームです。前回取材した2021年12月からさまざまな変化があったと思いますので、現在のご状況を教えてください。

杉原（tokuty）：（前回の取材）当時、私たちのお客様は主に協働組合や人材紹介会社といった特定技能1号の外国人を支援する登録支援機関がメインでした。2022年の初め、日本で習得した技能・技術を母国に持ち帰って広める制度を使って技能実習生が来日できるようになった影響で、協働組合を経由した特定技能人材のご依頼が減少してしまいました。そのため、お客様の対象を直接の雇用主にピボットしたのですが、十数万社ある雇用する事業所に片っ端から電話してアポを取るのは現実的ではありませんでした。そこで、2022年5月からオンライン・マーケティングを開始したところ、8月からお問い合わせを安定的に頂けるようになりました。現在ではお客様の約8割が直接の雇用主です。プロダクトは初期に比べて必要な機能が揃い、事業の収益も安定してきています。現在開発中の労働・在留ビザを申請する新規プロダクトでは強い需要を見込めること、また副次的に登録者のデータを活用して最適な人材のマッチングが可能になることで、今後の事業の主軸になりうると考えています。

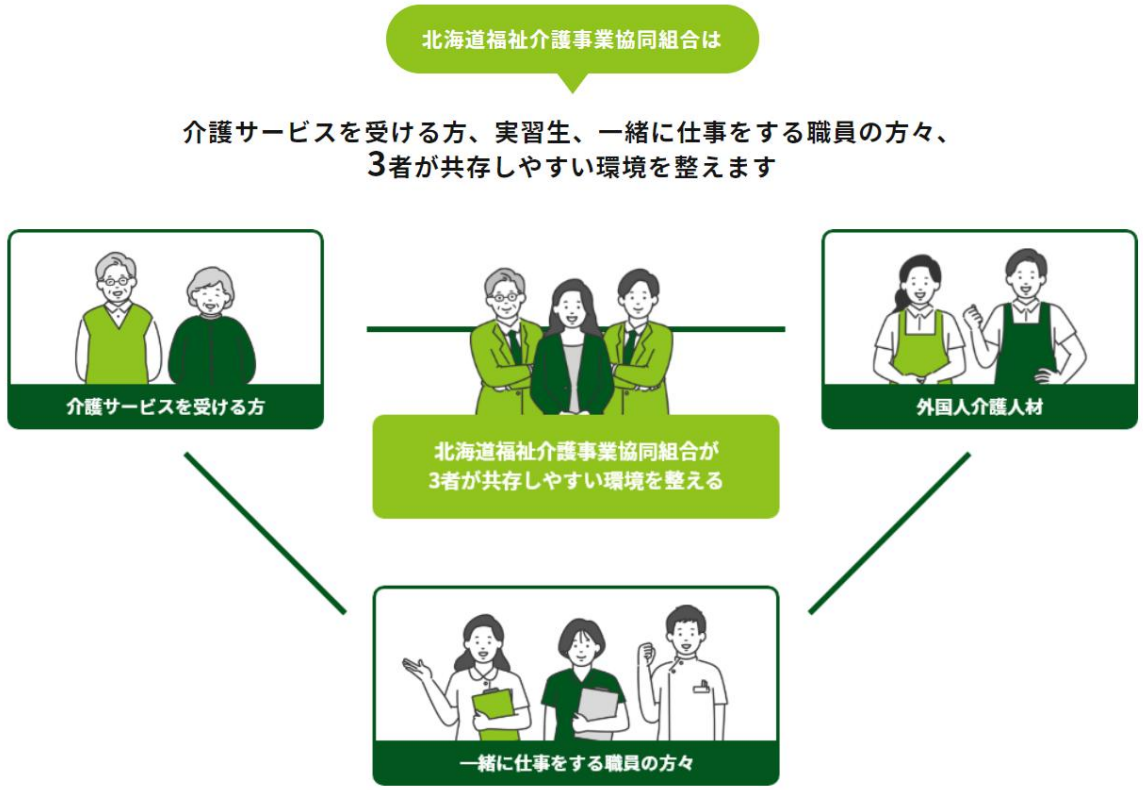
【10年で10倍】外国人が増えた地方自治体の状況

外国人の住民登録者数が10年前と比べ、2倍以上かつ100人以上増加した市区町村が280もあり、これが全体の16%を占めていることが、総務省の住民基本台帳調査によって明らかになりました。
その中で最も増加幅が大きかったのは北海道の京極町（11.8倍）で、香川県の琴平町（11.4倍）が続きました。人口が1万人以下の小規模自治体でも技能実習生の増加が進み、外国人が全国各地の産業を支えている現実が浮かび上がりました。外国人との共生がますます重要となっています。

北海道京極町
全国で増加幅が最も大きかった京極町では、ジャガイモ、ニンジン、小麦の産地で、外国人の数が10人から118人に増加しました。地元の農協「JAようてい」は特定技能を持つベトナム人などを35人雇用し、施設や機械の管理だけでなく、農家の手伝いもしています。担当者は「日本人は集まらないから本当に助かっています」と述べています。町によれば、外国人は農業以外にも食品加工や福祉分野で働いています。

北海道東川町
上位20市区町村で増加幅が大きい地域の半数は北海道で、特に東川町にはタイやベトナムから517人もの外国人が来日し、9.9倍に増加しました。また、リゾート地として知られる留寿都村（9倍）や占冠村（5.7倍）では、インドネシアやネパールからの人材が中心になっています。食肉加工が盛んな清水町（6.7倍）や酪農の上士幌町（5.1倍）などでも外国人の受け入れが進んでいます。

https://work.yolo-japan.co.jp/11093



https://hok-fukushikaigo.jp/

北海道のホテル、外国人スタッフが多役をこなし業界に活気

https://work.yolo-japan.co.jp/11653

北海道のホテル業界では、新型コロナの影響を克服し、国内旅行者と海外からの観光客が急増している中、スタッフの人手不足に対処するため、新しい「働き方」が広まっています。

阿寒湖畔の温泉ホテルでは、外国人スタッフがスタッフの3割を占め、ますます欠かせない存在となっています。彼らはフロント業務だけでなく、寿司を握るスタッフとしても活躍し、複数の言語を話すことから、海外からの宿泊客にもサービスを提供しています。全国のホテルで人材獲得競争が激化しており、外国人スタッフを採用し、働きやすい環境を整え、地域社会との協力を促進することが生き残りの鍵とされています。

白老町にあるリゾート温泉ホテルでも、働き方が変化しています。フロント業務を担当する藤野真司さんは、フロント業務が落ち着く時間帯には清掃業務を行い、宿泊客の要望に対応し、サービスの向上に貢献しています。このホテルでは、「マルチタスク業務」と呼ばれる働き方が導入されており、1人が複数の役割を兼任することで、労働環境の改善とお客様の満足度向上に貢献しています。

特定技能ビルメン作業１９名の女性が日本へ

POSTED 2023年10月4日

今年５月にバンコクで実施された特定技能ビルメン試験の合格者１９名が神奈川県に向けてタイを出国しました。

https://jinzai.co.th/news/%E7%89%B9%E5%AE%9A%E6%8A%80%E8%83%BD%E3%83%93%E3%83%AB%E3%83%A1%E3%83%B3%E4%BD%9C%E6%A5%AD%EF%BC%91%EF%BC%99%E5%90%8D%E3%81%AE%E5%A5%B3%E6%80%A7%E3%81%8C%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%B8/

【第２回（10/4）受講者受付中！】外国人材セミナー「外国人労働者を雇用する際の実務上のポイント」

外国人技能実習の現場に数多く立ち会ってきた労務管理支援の第一人者が解説します

人材確保が企業経営を左右する時代を迎える中で、外国人労働者を採用する企業が増加する一方、外国人材に働く場所として選んでもらえるかどうかが大きな課題となっています。

そこで、　「外国人労働者を雇いたい」とお考えの方や関心をお持ちの事業者、サポートされる士業の方々向けに外国人材セミナーを２回シリーズで開催いたします。
セミナーでは、外国人技能実習制度に関する最近の動きや入管法、労働基準法等の諸法令などについて現場ではどのようなことに気を付ければよいのか、「外国人労働者の募集・採用から退職までの労務管理の留意点」を最新の情報や実例などを交えながら具体的に解説します。

講 師
社労士オフィスオリオン
代表　長田　高幸 氏

https://www.kuhcci.or.jp/?p=28205

巨大地震想定の道防災総合訓練 大樹町では外国人対応など確認

12月19日　18時34分

北海道から岩手県にかけての沖合の海溝で大地震が発生したことを想定した道の防災総合訓練が行われ、このうち十勝の大樹町では外国人など避難に支援が必要な人たちにどう対応するかなどを確認しました。

この訓練は、道や地元の自治体が毎年２回行っているもので、十勝の沿岸などで実施された今回の訓練では、「千島海溝」と「日本海溝」でマグニチュード８の巨大地震が起き、津波が発生したことを想定して行われました。

このうち大樹町での避難訓練は、町内の牧場などで受け入れている外国人の技能実習生も参加して行われ、インドネシアやベトナム出身の人たちが避難所に避難してくると、町の職員が翻訳アプリを使ったり通訳に電話したりして受け付けの手続きを進めていました。

また、豚肉や酒を使用しないなどのイスラム教の戒律に基づいた食事の炊き出しも初めて行われました。

インドネシア出身の男性は「外国人にとってこういった訓練はとても大事だと感じますし、ありがたいです」と話していました。

大樹町役場の吉田隆広総務課長は「多くの技能実習生に訓練に参加してもらったのは初めてなので、非常に意義があったと感じる。町としても言葉の壁を取り除いたり、食事に関しても対応したりできるよう調整していきたい」と話していました。

https://www3.nhk.or.jp/sapporo-news/20231219/7000063399.html